

9月17日から京都で行われた近畿高校ユース陸上大会には1・2年男子18名が参加。男子総合では2位に入る活躍ぶり



でした。17日は3種目で優勝。写真左から1年棒高跳の山崎選手、2年ハンマー投の山口選手、2年400mHの酒井選手です。酒井選手は翌日の神戸新聞にも取り上げられ、来年に向けた抱負も語ってくれていました。勢いのついた18日も3種目で優勝。下段写真左から1年走高跳小島選手、1年110mJH 蓮香選手、



山口選手は円盤投での大会新記録が認められ2年男子優秀選手に選ばれました。2年ハンマー投では伊藤選手も3位に入賞。リレー種目は4×100m、4×400mともに決勝に残りましたが、6位、7位と来年を見据えるとさらなる奮起が必要です。自己新記録を出した選手も多くいましたが、力を存分に発揮できなかった選手もあり、来年に向けそれぞれが課題を感じた試合だったように思います。来年の徳島インターハイを見据えてそれぞれの課題克服に向け頑張ってください。U18日本ユースに出場する選手は、現在の全国での位置づけを探るチャンスです。堂々と勝負してきてください。お疲れ様でした。



19日は、秋季高校野球県大会2回戦、本校にとっては初戦の神港学園戦がありました。練習試合が十分にできていない本校にとっては、

初戦から厳しい対戦です。初回のチャンスをものにできなかった本校は再三チャンスを作るもののあと一本が出ず重苦しい雰囲気。ピッチャーの堀田選手が5回までノーヒットに抑えるピッチングを見せましたが、6回以降はうまくとらえられ逆に相手校に流れが傾きかけ、8回表の相手校の攻撃で一死満塁となりました。ここでの失点は負けにつながると見ていたところ、3塁ランナーが飛び出したのをキャッチャーが牽制、3塁選手が後ろにそらし万事休すと思われましたが、レフト大西選手が好返球をみせ、捕手の笠井選手が好捕し、タッチアウト。後続を断って無得点で切り抜けると8回裏に本校のチャンスが訪れ、2死2塁のチャンスでようやくタイムリーが出て先制。その後相手のミスにも乗じて2点目も追加。最終回のピンチを切り抜け堀田投手は完封。初戦突破し、ベスト16にはいりました。今週は3試合が予定されており、厳しい戦いは続きますが、一戦一戦力をつけ勝ち抜いてほしいです。次は23日。頑張りましょう。



20日は、女子ソフトテニス県新人東播地区予選個人戦がありました。北播大会での結果が良かったので、期待されたのですが、緊張感から力を出し切れず、県大会出場のかかった試合でも惜しくも負けてしまうなど残念な結果に終わったようです。23日の団体会で県大会出場を狙います。頑張ってください。

他にもソフトボール部は、県新人東播地区予選でベスト4まで勝ち上がり、県大会出場を決め25日の準決勝に臨むようです。同じく柔道部の個人戦は、出場者全員が県大会出場を決めました。それぞれの階級で課題はあるようですが、一つひとつ克服をして県大会では上位を目指すとともに、団体戦でも結果を残せるように準備を進めてください。

新型コロナの新規感染者も減少傾向が続いていますが、神戸市では小中学校で教員を含めたクラスターが確認されるなどまだまだ気を抜けません。今月に入り高校生のワクチン接種も進みだしたようですが、基本的には感染しないための個人個人の努力が不可欠です。保護者の皆様のご協力のもと、生徒たちも気を付けているようですので、引き続きのご協力をお願いします。マスク着用(不織布が望ましい)、食事の際の黙食、密になる場所を避ける、部屋の換気を十分にするなどの方策の継続をお願いします。